ŌMIYA NEWS

No.86　2023年12月7日　JR 東労組大宮地本

大地申第１号　「JR東労組大宮地本第 24回定期大会」の発言に基づく申し入れ

2. 運輸職場において、勤務指定表がシステム上において閲覧が可能になった事を契機に職場に備置されず、個人が勤務指定表の閲覧を求めても各職場で取扱いが違う事は正当な組合活動に支障をきたすこととなるため、通達に基づき運用すること。

11月30日（木）
14：00～

―交渉の冒頭で会社から継続議論の回答がされる―

1．勤務指定表は社員個々の勤務等と確認のためにされていたが、支援システム導入に伴い社員個々の勤務が確認できることから取り扱いを変更した。

2．レクレーションの線引きは出来ないが会社主催のレクや会社が承認するものは管理者が判断する事となる。（基準はなく管理者が判断したものとなる）

3．11 月に出された通達に基づき、２０２３年１月１６日に副区長会議にて議論したものである。

組：システムになったのは分かる。通達が出る前は勤務表はみんなが見れるところにあった。様々なサークルやクラブ、職場レク、教導と見習いの勤務など勤務がバラバラなのでコミュニケーション含めて見てやってきた背景があった。この間、何か問題があったのか？

会：そこで何か問題があったかというとなかった。

組：根拠がない。そもそも勤務は隠すものではない。通達通りやるべきだ。

会：我々で判断出来るものではなく本社に確認して回答している。

組：今まで見られた事は管理者も知っていて、何も問題もなかったとなると職場での取り扱いは理不尽でしかない！こんな不誠実な話はない！

会：現場管理者の判断には誤差があり、現場の裁量はあると思う。

組：どんな会社だって歓迎会だってありますよ。新人が転入したら一番来れる日設定するでしょう。職場のコミュニケーションを否定するということで良いか？見せないということはそういう事になる。職場では組合対策でしょと本音で言っている方もいる。過半数代表者選挙の関係じゃないですかと現場の方から声を聞いている。業務なら見せると言うが、職場のみんなでコミュニケーション取ろうと旅行行くのに何か問題あるのか？

会：職場のコミュニケーションを否定するものではない。

組：色々な鉄道会社があり話も聞いてきたが、誰が聞いても異常だと、おかしな会社ですねと言っていた。本社に言った方が良いのではないか、JR の常識は非常識だと。違う職場なら分かるが同じ会社・同じ職場だ。コミュニケーション取るために見せて欲しいと言っても見せないこんな異常な会社はない！

一方的な異常なルールで職場のコミュニケーションを阻害するのは許されない！！

ŌMIYA NEWS

No.91　2023年12月13日　JR 東労組大宮地本

大地申第１号　「JR東労組大宮地本第 24回定期大会」の発言に基づく申し入れ

3. 大宮駅において2月に発生した、「駅列車見張り員（ホーム）を配置せずホーム上の除雪作業をおこなった事象」について内容を明らかにし、同事象を発生させないための対策を講じ、指導を徹底すること。

11 月 30 日（木）
14：00～

組：今回の事象をどのように受け止めているのか？

会：見張り員（ホーム）は**作業者の安全を守るために配置**する。過去の事象を踏まえ再発防止のルールとしてできた。そこを守ってこそ社員の命を守れる。今回の事象は最悪、命に繋がる事象のため、**重く受け止め、指導しなければいけない。**

組：降雪時の取扱い勉強会を開催しても、管理者を含めホーム上の正しい除雪の在り方の認識が定着しなかった原因は？

会：勉強会では見張り員の役割や装備品、過去の事故事例に触れている。見張り員は自身と仲間の命を守るという内容に触れながら、**社員に定着できなかったことは認識を持たせる方法として改善が必要**だと考えている。

組：当事者との聞き取りにおいて、**事実確認で過呼吸**になっている。どう受け止めているのか？

会：当日除雪に携わった社員に事実確認するとなり、聞き取り時に胸ポケットを触る仕草があり、副長は**ボイスレコーダーを入れていると思い込んだ。**個人名が出ていたので「止めて話をしよう」としたところ、そのような症状に至ったと把握している。

組：聞き取りで**「やっていないよな？」**と言われたり、**「外に出していないよな？」**という聞き方は**「隠ぺい」**と捉えられかねないが？

会：聞き取り方は様々あるが、隠ぺいするための聞き取りではなく**隠ぺいとは認識していない。**

組：威圧感があり事実を委縮して言えなくなっていた。事象が増えている中で、共有できる機会であった。IC の件でやり取りが続き本人からすると信用されていないと受け止める。包み隠さず言える職場をつくることが大切。他支社でも隠ぺいに関する事象が相次いでいる。調査をされている方が、**「黙っていろという○体質ではいけない。」**事象は発信し、次に同じ事象を起こすことがいないようにしていかなければならない。

会：真実を語って頂いたことは事故防止の観点で重要。人間なのでミスは発生するが、**ありのままを報告できる環境**を創ることは各職場で取り組んでいかなければいけない。

安全最優先！同種事象を繰り返さないために
真実が語れる職場風土をつくり上げよう！